

令和5年度(2023年度) 問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育む実践力向上研修（小学校） 実施要項

1 目 的

「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進することを目的とします。

2 主 催

北海道立教育研究所

3 期 日

- (1) 令和5年(2023年)9月20日(水) 遠隔型研修Ⅰ
- (2) 令和5年(2023年)9月21日(木)～9月29日(金) オンデマンド型研修
- (3) 令和5年(2023年)10月5日(木)～10月6日(金) 集合型研修
- (4) 令和6年(2024年)1月29日(月) 遠隔型研修Ⅱ

4 実施方法及び会場

(1) 実施方法

本講座は、全4回の研修のうち、1回目と4回目の研修は遠隔型研修、2回目の研修はオンデマンド型研修、3回目の研修は集合型研修により実施します。

(2) 会 場

- ア 遠隔型研修Ⅰ及びⅡ、オンデマンド型研修
各受講者の勤務校(勤務校にしながら受講することが可能です。)
- イ 集合型研修
酪農学園大学(江別市文京台緑町582番地)

5 参加対象

小学校教諭

6 研修内容及び日程(職場実践(自己研修)を除く)

9/20(水) 遠隔型研修Ⅰ	9/21(木) オンデマンド型研修	10/5(木) 集合型研修	10/6(金) 集合型研修	1/29(月) 遠隔型研修Ⅱ
接続受付[14:30~14:45] 接続最終確認[14:45~15:00] オリエンテーション [15:00~15:10] 説明・協議 [15:10~16:10] ①課題の明確化Ⅰ ②STEAM教育との関連性	説明・講義 [約30分] ①理科教育の現状と課題 ②授業改善と評価の充実 ③実習のポイント	受付 [8:50~9:15] 開講・オリエンテーション [9:15~9:30] 講義・演習 [9:30~10:00] 課題の明確化Ⅱ 講義 [10:00~10:40] 「STEAM教育」 酪農学園大学准教授 金本 吉泰 氏 【酪農学園大学フィールド 教育研究センター】 実習 [10:50~12:00] 粒子領域の観察・実験 【酪農学園大学フィールド 教育研究センター】 昼食・休憩(12:00~13:00) 実習 [13:00~14:00] (午前の続き) 実習 [14:10~16:50] 生物領域の観察・実験 【酪農学園大学フィールド 教育研究センター】	実習 [9:00~11:30] エネルギー領域の 観察・実験 【酪農学園大学フィールド 教育研究センター】 実習 [11:40~12:00] 地球領域の観察・実験 【酪農学園大学フィールド 教育研究センター】 実習 [13:00~15:10] (午前の続き) 研修の振り返り [15:20~16:00] 【酪農学園大学フィールド 教育研究センター】	接続受付[13:00~13:15] 接続最終確認[13:15~13:30] 実践交流及び情報交換 [13:30~14:50] 授業改善・評価の充実 についての自校での 実践成果発表・交流 協議 [14:55~15:10] 理科に関する先進的な 取組事例など 研修の振り返り [15:10~15:30] 今後の取組の明確化

7 講師

集合型研修

【講義】「STEAM教育」

酪農学園大学准教授 金 本 吉 泰 氏

8 持ち物

- (1) 白衣
- (2) 小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説理科編

9 その他

- (1) 申込み時の留意事項
 - ・本研修講座の遠隔型研修は、ウェブ会議システム「Zoom」を活用して実施します。
 - ・研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただきます。そのため写真に顔等が映り込む場合がございますので、あらかじめ御了承ください。
 - ・遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末（カメラ機能・音声入出力機能有り）を用意してください。
 - ・受講決定後、遠隔型研修の事前接続テストを行い、接続等についてサポートします。
- (2) 受講時の留意事項
 - ・集合型研修では、受講者としてふさわしい服装で受講してください。
 - ・本研修講座で使用する配信画面、配信動画等を無断で録画（スクリーンショットでの撮影を含む）、録音、ダウンロードしないでください。
 - ・接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については、別途お知らせします。
 - ・本研修の集合型研修は実習を主とした研修のため、集合型研修を欠席した場合、本研修の修了が認められません。